

介護保険料の大幅引き下げ、耐浪性ある津波避難施設を

12月議会で、村上かずしげ議員は ①民間土地地区画整理事業、②介護保険、③暖房費助成、④津波避難施設の4点について一般質問を行いました。



高知県の津波避難タワー

介護保険の基金は19億円

介護保険は3年ごとに保険料の改定が行われます。介護保険料を考えるうえでポイントは二つ。一つはこの物価高の中でいかに高齢者の負担を減らすか。もうひとつが介護保険の赤字をためてきた基金が4年

基金取り崩しで大幅引き下げは可能

問 基金から8億円余りを取り崩し、年額5千円の保険料を引き下げよ。
答 基金の中に、保険料引き下げ分として5・9億円を確保している。策定市民委員会の意見書でも保険料抑制が求められており、基金を活用していく。

これで、保険料引き下げは本決まりとなりましたが、さらなる基金の取り崩しと引き下げ幅の拡大をめざします。

耐浪性の確認できない避難所が28か所

津波避難施設の追加指定している中、市は大きな見直しに直面しました。大津波に対する避難施設の強度（耐浪性）を確認しなければいけないのに、市はそれをしておらず、改めて調べたら、津波浸水区域内の28か所の耐浪性が確認できなかったのです。

問 避難施設に指定予定だった大楽毛小、音別中も耐浪性が確認できていない。代わりに、津波避難タワーを整備する考えか。
答 大楽毛小、音別中の近くに津波避難タワーを整備する方向で国と協議している。
問 今後の津波浸水地域の避難所の見直しでは、すべて耐浪性が確保された施設とするのか。
答 津波避難施設はすべて耐浪性の確保された施設とする。避難困難地域の解消が大事で、様々な方策を講じていく。

度末で19億円を突破。これまでの介護保険料が高すぎたことがハッキリしたことです。

介護保険の基金残高の推移

